

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	田中 伸代 (****年**月**日)
本 籍	*****
学位(専攻分野)	博士(医療情報学)
学位授与番号	乙第38号
学位授与日	令和3年9月22日
学位授与の要件	学位規程第3条第4項該当
論文題目	医療秘書教育における e ラーニングおよびオンライン講義の利用に関する研究
審査委員	教授 阿南 誠 教授 片岡 浩巳 教授 秋山 祐治

博士論文内容の要旨

本論文は、当該執筆者が医療秘書教育の現場にあって、高等教育や社会人教育での教育手法に着目し、その社会的ニーズの変化やそれに求められる教育方法等について、その課題を明らかにすると共に、ICTを活用したeラーニングの教材開発やカリキュラムの提供等の方法、その結果、評価を行うことを目的としている。特に川崎医療短期大学や川崎医療福祉大学の学生や実務者（医療秘書業務等についている者）を対象として教材の評価や課題を明らかにしている。また、2020年度には折からのコロナ禍の中にあつて遠隔教育の導入を行うと共に、初年次学生を対象とした実践を行い、その効果と問題点を明らかにしている。その結論としては、現時点ではブレンディッド・ラーニングが最良であると指摘する一方で、本研究に残された課題として、本学の体制を含めて、教材作成や教材のメンテナンス等に対して、対応出来る人材が不足しておりその育成が急務であると示唆した論文である。

博士論文審査結果の要旨

7月28日、12時45分から以下のとおり審査を行った。

本論文は、当該執筆者の長年に渡る医療秘書教育の集大成として作成されたものである一方、近年のコロナ禍で遠隔授業等が話題となる前から取り組んで来た課題であり、先見性と共に、時宜を得た論文となっている。またその内容も予備審査以降、さらにブラッシュアップが図れており、博士論文として完成領域にあることを認めた。審査については、審査委員会の主査、副査からの口頭試問において、適切に回答や意見が述べられており、本研究分野において、十分な知識と理解があることが認められた。

また、執筆者の英語能力については、研究内容に関連したA4版2ページに渡る英文を5分間黙読させ、その内容についての質疑応答を行い評価した。結果は、滞ることもなく適切に回答し、英語力も十分に認められた。

本学の審査基準に照らしても、十分に博士論文として適正であると評価した。